

# 守恒校区ふくしのまちづくり

2023~2027

守恒校区 小地域福祉活動第一次計画



ふれあいネットワーク

守恒校区社会福祉協議会



守恒校区キャラクター  
もねっとくん

## 目次

ごあいさつ・・・・・・・・・・ 1P

第1章 計画査定にあたって・・ 2P

- 1 計画の性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の策定経過

第3章 計画体系・・・・・・・・ 4P

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 実施項目（体系図）
- 4 重点実施項目

第2章 守恒校区の現状と課題・・ 3P

- 1 地域の課題や福祉課題
- 2 人口・世帯数・高齢化率
- 3 守恒校区テータ（自治会入会世帯）

第4章 計画の推進・・・・・・・・ 8P

- 1 計画の承認と周知
- 2 計画の推進体制
- 3 第二次計画の策定
- 4 推進委員会名簿
- 5 策定状況



森津根ガーデン 守恒市民センター駐車場



## ご挨拶

守恒校区社会福祉協議会  
会長 笹月 二男



守恒校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成6年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・話し合い・助け合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢社会となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても急速な少子高齢化や、障害を持つ人の増加、孤立死やヤングケアラーの問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性の高まりが必要とされています。また、2020年からは新型コロナウイルスの感染予防と地域活動との共存という難しい局面にも立たされています。その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2021-2025」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「地域共生！きたきゅうプラン2021～2025」（北九州市地域福祉活動第六次計画）が策定されたところです。

守恒校区においても、今後地域福祉活動をより進めていくために、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び北九州市社協の地域福祉活動計画と整合性をもちながら、住民主導による地域福祉活動を進めるため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

令和5年3月 吉日

## 第1章 計画策定にあたって

### 1 計画の性格

#### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、守恒校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

#### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、守恒校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

#### (3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

#### (4) 守恒校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、守恒校区社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

### 2 計画の期間

令和5年度～令和9年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

### 3 計画の策定経過

守恒校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、守恒校区小地域福祉活動計画を策定しました。

## 第2章 守恒校区の現状と課題

### 1 地域の特性や福祉課題

守恒校区は昭和51年4月に北九州市立守恒小学校開校を機に創設されました。それ以来、積極的な地域開発が行われてきました。昭和60年1月にはモノレール小倉線が開業し、モノレール沿線として新興住宅地の開発が行われ、校区の人口は増加の一途をたどり町並みも大きく変貌しました。また、平成から令和にかけて大型商業施設や大型住宅施設など建設が進み増々人口は増え続けています。

しかしながら、少子高齢化や核家族化が進み、家族同士のつながりや地域の人間関係が希薄になっていることが問題視されていますが、守恒校区においても例外ではありません。地域での福祉や教育の増進を図るのみならず、環境、防犯、防災などの住民自治の更なるあり方に対する方策が求められています。

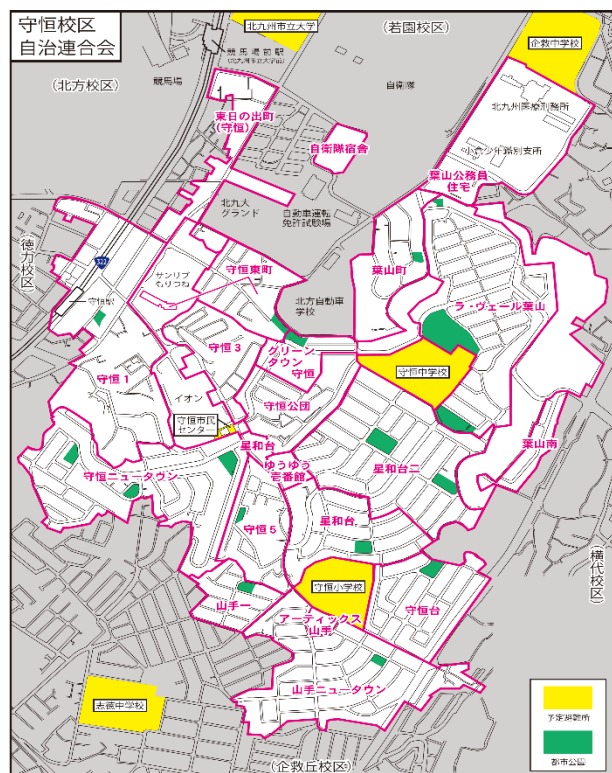
### 2 人口・世帯数・高齢化率

	2002年 (平成14年)	2012年 (平成24年)	2022年 (令和4年)
人口	13,786	14,146	13,515
世帯数	5,461	6,039	6,198
高齢化率	16.0%	18.5%	24.1%

### 3 守恒校区データ (自治会入会世帯)

人口	11,550人
世帯数	2,950世帯
高齢化率	24.1%
一人暮らし 高齢者	250人
小学校	守恒小学校
中学校	守恒中学校
活動拠点	守恒市民センター
地域包括支援センター	小倉南4
民生委員	13人
福祉協力員	29人


### もりつねマップ



## 第3章 計画体系

### 1 基本理念

『 **モリ** もり元気いっぱい、

**ツネ** に幸せいっぱい、助け合いのまちもりつね 

「 **ぼっちじゃないよ！** 」 』

守恒校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「もりもり元気いっぱい、ツネに幸せいっぱい、助け合いのまちもりつね「ぼっちじゃないよ！」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

### 2 基本目標

#### (1) 地域の絆づくり福祉の心を深めよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちへの福祉教育を通じて、地域に福祉の風土を広げます。

重点項目・・・①福祉に関する勉強会の開催（SOS ネットワーク会議）

#### (2) ふれあいの場を広げよう

地域交流の場所の設置やイベントを企画して、住民間のつながりを強めていきます。

重点項目・・・②多世代交流の充実

#### (3) 安心して暮らせるまちづくり ～活動者の育成～

地域住民みんなが安心して暮らせるよう公私の社会福祉関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動をすすめます。

重点項目・・・③自治会入会の促進

④生活支援事業の応援

3 実施項目（体系図）

太字…重点項目

守恒 校区行事

基本理念 「モリもり元気いっぱい ツネに幸せいっぱい 助け合いのまちもりつね 「ぼつちじゃないよ！」

基本目標Ⅰ  
「地域の絆づくり福祉の心を深めよう」

1. 福祉に関する勉強会の開催  
(SOSネットワーク会議)
2. 民生委員、福祉協力員との連携づくり (ふれあいネットワーク連携調整会議の充実)
3. 社協新聞「しゃきょう守恒」の発刊
4. 守恒校区ホームページの活用
5. 各委員会の充実
6. 小中学校先生との連携

- 1.1 SOSネットワーク会議、総会 (6月)
- 1.2 ふれあいネットワーク連絡調整会議 (1回/月)
- 2.1 民生委員連絡会議 (1回/月)
- 2.2 ふれあいネットワーク連絡調整会議 (1回/月)
- 3.1 社協新聞「しゃきょう守恒」の発刊 (2回/年 8月.3) 月
- 4.1 行事のお知らせ等タイムリーにアップ
- 5.1 自治連合会会議 (1回/月)
- 5.2 老人会
- 5.3 婦人会
- 5.4 体育委員会
- 5.5 子ども育成会
- 5.6 青少年育成部会
- 5.7 庭づくり委員会
- 6.1 校区社協、まち協、行事実行委員会への参加
- 6.2 通学路パトロール

基本目標Ⅱ  
「ふれあいの場を広げよう」

1. 多世代交流会の充実
2. 敬老会の開催
3. 青少年育成事業の充実、促進
4. サロン活動
5. ふれあい昼食交流会の促進

- 1.1 夏まつりもりつねの開催
- 1.2 校区体育祭
- 1.3 校区スポーツ大会
  - 1.3.1 まちづくりスポーツ大会
  - 1.3.2 ソフトボール大会
  - 1.3.3 バレーボール大会
  - 1.3.4 ソフトバレーボール大会
- 1.4 ふれあい守恒の開催 (12月)
- 1.5 文化祭の開催 (11月)
- 1.6 健康づくり事業主催行事
  - 1.6.1 ウオーキング
  - 1.6.2 赤ちゃんピック
  - 1.6.3 ハロウィン
  - 1.6.4 音楽祭
- 2.1 敬老会の開催 (9月)
- 3.1 春季・夏季・冬季夜間パトロール
- 3.2 各校区行事の警備
- 3.3 青少年育成向けの勉強会の実施
- 4.1 サロンの開催 (住民主体でサロン活動)
- 5.1 ふれあい昼食交流会 (1回/月 第3水曜日) ヘルスメイト、民生委員、福祉協力員

基本目標Ⅲ  
「安心して暮らせるまちづくり」  
～活動者の育成～

1. 自治会加入の促進
2. パトロール隊の充実
3. 災害時の避難誘導等、防災運動
4. ボランティア活動者の養成
5. 生活支援の応援
6. 避難所事業

- 1.1 自治連合会定例会 (1回/月) での広報
- 1.2 H・PでのPR
- 1.3 もりつネットの活用
- 2.1 夜間パトロールの実施 (年間58回 車両4×12=48、徒歩10回) 町内每一斉パトロール2回
- 3.1 SOSネットワーク会議 搜索模擬訓練
- 3.2 防災避難訓練
- 4.1 「新春のつどい」の開催
- 5.1 社協新聞での広報
- 5.2 回覧、掲示板の活用
- 5.3 生活支援事業
- 6.1 避難所運営委員会

## 4 重点実施項目

<b>重点実施項目 1</b>		<b>福祉に関する勉強会の開催 (SOSネットワーク会議)</b>					
<b>1 課題・背景 (重点項目とした理由)</b>							
<p>守恒校区で発生したSOS(高齢者や子ども等の行方不明・災害発生時)に迅速に対応するために、地域の自主事業として平成24年9月13日に立ち上げました。より安全・安心な北九州一住みやすいまちを目指していきます。</p>							
<b>2 活動の方針・目標</b>							
<p>より安全・安心なまちを目指し、高齢者や子どもたちが万一行方不明になった際、直ちに探す体制がとれることを第一の目的に、超高齢化時代に向けて 地域自らが備えるものです。災害時のボランティア活動も視野に入れています。</p>							
<b>3 段階的な取り組みの年次計画</b>							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
SOSネットワーク会議と学習会	市民センター 校区社協	→					毎月1回のSOSネットワーク会議の充実と会議の定着
「もりつネット」に登録	学校 自治会 医療機関 警察 行政	→					
会議内容の充実と「もりつネット」登録者の増加	校区社協 市民センター	→					

<b>重点実施項目 2</b>		<b>多世代交流会の充実</b>					
<b>1 課題・背景 (重点項目とした理由)</b>							
<p>守恒校区ではH29年の大型商業施設の閉店など一時治安の悪化が心配されましたが、令和元年大型商業施設の再進出や大型住居設備の建設により校区の活気が戻って来ています。しかし、人口が増える一方で多世代の交流が希薄になりつつあります。</p>							
<b>2 活動の方針・目標</b>							
<p>各種行事やパトロール計画、実行し、子供から大人まで守恒に暮らす全ての人達が安心して幸せに暮らせるまちづくりを目指します。</p>							
<b>3 段階的な取り組みの年次計画</b>							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
夏まつりもりつねの開催	市民センター 校区社協	→					定着化
「ふれあい守恒」の開催	学校 自治会	→					
健康づくり事業主催行事	企業 商店街	→					



重点実施項目 3		自治会加入の促進					
<b>1 課題・背景（重点項目とした理由）</b>							
高齢化や比較的若い世代は転勤族、自治会加入のメリット等を理由に毎年、自治会加入率の低下が課題です。							
<b>2 活動の方針・目標</b>							
自治会の役割と意義の理解を深め、誰もが納得して加入し、自治会の活性化を目指す。校区行事等を通じて校区内の人流を活性化させ住人のつながりを広げ加入率を上げていきます。							
<b>3 段階的な取り組みの年次計画</b>							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
校区行事の主催	自治会 市民センター 校区社協 民児協 学校 行政						加入率 100%を目指す
自治連合会定例会(1回/月)での広報活動							

重点実施項目 4		生活支援の充実					
<b>1 課題・背景（重点項目とした理由）</b>							
校区高齢化にともない、ちょっとしたお困りごとの相談窓口の必要性があり、生活支援開始から約3年を迎えますが、知らない人が多く広報の仕方を考えていきます。							
<b>2 活動の方針・目標</b>							
自治会や校区社協各団体、校区まち協の理解を得るように務めます。生活支援内容の説明を丁寧に行い、支援を受ける人とサポーターをスムーズにつなげます。							
<b>3 段階的な取り組みの年次計画</b>							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
社協新聞での広報	自治会 市民センター 校区社協 民児協 行政						定着化
各団体定例会での広報活動							

## 第4章 計画の推進

### 1 計画の承認と周知

- ① 守恒校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
  - ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼
  - ③ 計画書概要版の作成、配布、ホームページやSNSを通じた校(地)区住民への周知
- その他、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、守恒校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な計画、実施
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

『守恒校区ふくしのまちづくり』  
意見交換会の様子  
令和4年12月24日



## 4 守恒校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

## 守恒校区社会福祉協議会

	役 職	氏 名	団体名	備 考
1	会 長	笹月 二男	自治連	委員長
2	副会長	西本 澄雄	民生員・児童員協議会	副委員長
3	副会長	大島 英昭	体育委員会	副委員長
4	事務局長	浜松 千子	守恒学童保育クラブ	
5	会 計	松岡 汲子	自治連	庶務
6	庶 務	重松 厚子	婦人会	
7	監 査	甲木 知	警察少年補導員	
8	監 査	安福 秀樹	自治連	
9	評議員	山根 俊子	ふれあいネットワーク 連絡調整会議	
10	評議員	永田 武司	年長者会	
11	評議員	金井 智恵子	子ども会育成協議会	
12	評議員	平尾 修一	青少年部会	
13	評議員	望月 球美子	食生活改善推進員	
14	評議員	山下 直也	守恒中学校教頭	
15	評議員	山内 哲也	守恒小学校教頭	
16	評議員	今道 三恵子	保護司	
17	評議員	竹本 真実	守恒中学校 PTA	
18	評議員	木下 和彦	守恒小学校 PTA	
19	評議員	生田 妙子	守恒市民センター	

## 5 守恒校区小地域福祉活動計画の策定状況

月	内容	会議	主な協議事項
4	・小地域活動計画書提出	役員会	・計画策定スケジュールについて ・策定委員会メンバーについて
6	・計画と補助金の説明	役員会	・計画内容の確認
7	・各委員会への説明 アンケート配布		・校区社協各委員会アンケート説明・配布 (160部)
8～ 10	・10月末 アンケート集約		・委員会の現状 ・行事の振り返り ・良い点・悪い点の洗い出し ・地域へのお困りごとを聞く ・委員会活動の見直し
11	・アンケートをもとに計画書 作成	役員会	・今後のスケジュールについて
12	・ふくしのまちづくり意見交 換会 (12/24)	役員会	・南社協との打ち合わせ ・基本理念の決定
1～ 2	・計画書の作成	役員会	・計画書の草稿について
3	・計画書印刷・発行	役員会	・計画の印刷・広報について

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit vo saurus)

Petit (プチ: ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス ≡ 恐竜)

守恒校区社会福祉協議会

〒802-0972 北九州市小倉南区守恒2丁目8-36

守恒市民センター内

TEL 093-963-1446 FAX 093-963-1446

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園5丁目1番2号

TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内

(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579

(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>

